



コレクションの20年

II

1950年代から 現代へ

2018.2.17_[土]—4.1_[日]

左上から
古橋義朗 《山湖(朝)》 1960年
我妻英策 《秋の笑り》 1978年
我妻英策 《夢沼》 1979年
小野崎草樹 《乾坤》
秋山俊也 《人物2005 No.5(ウォールより)》 2005年
木村在八 《新宿遠望A》 1958年 (寄託)
加山四郎 《ノコギリ》 1971年
荻町芳雄 《北海の蟹》 1975年頃
荻町芳雄 《小栗川の農家》 1989年
古橋義朗 《霞かゝる男体》 1984年

手塚登久夫 《麻の森2005》 2005年
菊地武彦 《土の記憶2006-36》 2006年
菊地武彦 《土の記憶2006-37》 2006年
秋山俊也 《運ぶ》 2008年
二本直巳 《ボロニウス7904》 1979年
入江親 《風車光》 1962年
小杉放庵 《山寺有酒》 1958年
入江親 《山の山湖》 1998年
中村功 《Surface / Figaro 意勢IV-30》 2005年
関島秀徳 《Untitled No.4》 1997年
秋山俊也 《漂着》 2008年

佐川晃司 《背にとどまるもの04.8-1》 2004年
小野崎草樹 《日食》 1958年
山田昌宏 《ティリニ》 2006年
高木修 《Untitled W12》 2007年
二本直巳 《見晴らし台1402》 2014年
多和英子 《柱棒 Welding 190》 2007年
二本直巳 《見晴らし台1307》 2013年
二本直巳 《パティオ83A1》 1983年
秋山俊也 《ジーンズあるいは藤》 2008年
関島秀徳 《Kinesis No.407 (Bakufu Un)》 2009年
高木修 《Untitled W11》 2007年

- 休館日=月曜日
- 入館料=一般720(640)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料
- 開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※()内は20名以上の団体割引料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料となります。
※第3日曜日「家庭の日」(2月18日、3月18日)は、大学生は無料となります。
※3月21日[水・祝]は、「日光市民の日」につき、入館無料となります。

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3 Tel.0288-50-1200 <http://www.khmoan.jp>



コレクションの20年

I

風景画 いろいろ

2018.1.1_[月・祝]—2.12_[月・祝]

左上から
小杉未醒 《水村長夏》 1927年
小杉未醒 《牛》 1913年 (寄託)
中澤弘光 《上高地大正池》 1932年
須田田太郎 《春の米島海峽》 1953年
小杉未醒 《琉球風景》 1916年
ジョン・フアレー・Jr 《神山旅館》 1890年
沼辺強太郎 《東照宮・陽明門》
ロバート・ウィアー・アラン 《陽明門》 1907年
大野隆徳 《奥入瀬渓流の秋》 1932年
牧野正吉 《初夏の尾瀬沼》

鈴木淳 《風景(山)》
山下新太郎 《日光中禅寺湖朝景》
山本壽 《秋の白馬岳》 1932年
TABUCHI 《馬道》
N.HISANO 《大猷院・夜叉門》
作者不詳 《東照宮・陽明門》
河久保正名 《大猷院・拜殿内部》
作者不詳 《風景》
河久保正名 《東照宮・陽明門と神輿舎》
河久保正名 《輪王寺・三仏堂内部》
小杉放庵 《水亭》 1932年

小杉放庵 《風景(山)》 1933年
三宅克己 《日光》 1896年
Shusen 《神橋》
TABUCHI 《日光駅前風景》
上野山清賢 《摩周湖》 1932年
斎藤與里 《東照宮・陽明門》 1953年
和田英作 《三保富士》 1953年
鹿子木孟郎 《吉野連山》 1935年頃
藤島武二 《屋島よりの展望》 1932年
清谷四郎 《横石島の帰航》 1932年
Y. Ito 《日光岩木木》

- 休館日=月曜日・1月4日[木]～6日[土]、9日[火] (1月1日・8日・2月12日[月・祝]は開館)
- 入館料=一般720(640)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料
- 開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※()内は20名以上の団体割引料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料となります。
※第3日曜日「家庭の日」(1月21日)は、大学生は無料となります。

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3 Tel.0288-50-1200 <http://www.khmoan.jp>

風景画 いろいろ

小杉放菴と並ぶ、当館の重要なコレクションである「日光の社寺を描いた水彩画」コレクションと、2012年度に寄贈された「国立公園絵画」コレクション。この2つのコレクションを中心に、小杉放菴、河久保正名、梅原龍三郎、小磯良平ら総勢40名以上の画家たちによる、日光から日本全国にわたる風景画の諸相をご覧ください。



Y. Ito 《日光杉並木》



和田英作 《三保富士》 1953年



TABUCHI 《馬返》



藤島武二 《屋島よりの展望》 1932年



溝谷四郎 《櫃石島の帰帆》 1932年



ロバート・ウィアー・アラン 《開明門》 1907年



小杉末蔵 《牛》 1913年 (寄託)



鹿子木孟郎 《吉野連山》 1935年頃



小杉放庵 《水亭》 1932年



三宅克己 《日光》 1896年

小杉放菴記念日光美術館では、これまで小杉放菴以外の作品、それも戦後から現代にかけて活躍した画家の作品も数多くコレクションしてきました。本展では、秋山俊也、小野崎草樹、古橋義朗ら日光市ゆかりの画家から、菊地武彦、二本直巳、間島秀徳ら現代のアート・シーンを代表する画家の作品まで、1950年代から現代にかけて描かれた彼らの作品を、同時代の小杉放菴作品とあわせてご紹介いたします。

1950年代から 現代へ



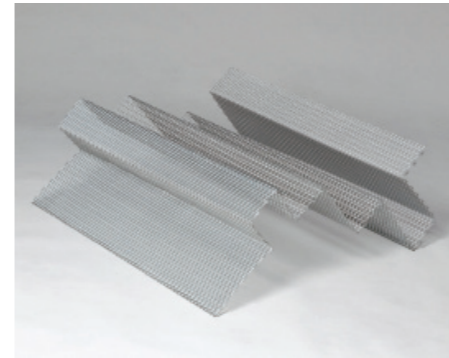
手塚登久夫 《集の森2005》 2005年



古橋義朗 《雪景(A)》 1968年



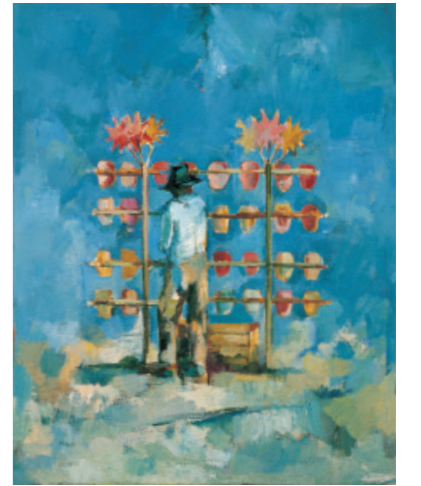
秋山俊也 《人物2005No.5 (ウォールより)》 2005年



高木修 《Untitled W12》 2007年



荻町芳雄 《北海の蟹》 1975年頃



入江親 《風車売》 1962年



小野崎草樹 《日食》 1958年



小杉放菴 《山寺有酒》 1958年



菊地武彦 《線の気韻1993-9》 1993年

【会期中の催し物】

学芸員によるギャラリー・トーク

日時=2018年1月14日[日]、1月28日[日]、
2月12日[月・祝]、3月4日[日]、3月21日[水・祝]
各午前10時30分より(1時間程度)
参加方法=入館券をお求めのうえ、
お時間までに受付前にお集まりください。

ワークショップ

「毛糸で大谷石の板に木を織ろう！」
日時=2018年3月25日(日) 午前10時から正午
会場=小杉放菴記念日光美術館 体験実習室
講師=渡邊恵美子氏(織作家)
内容=色とりどりの毛糸を使って、大谷石の板(15cm
×15cm)の上に、自分の好きな木の形を織り込みます。

対象=小学1年生から一般(小学3年生以下は保護者同伴)
定員=15名(申込先着順)
会場=小杉放菴記念日光美術館 体験実習室
申込方法=2018年3月1日(木)午前9時から受付開始
参加費=1,000円(展覧会の観覧料も含まれます)
※詳細は美術館のホームページでもお知らせいたします。

◎ 電車=東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾、中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分。神橋停留所より徒歩3分
◎ 車=日光宇都宮道路・日光インターから約2km
◎ 駐車場=併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。

